

小学校第5学年 単元別確認テスト7

単元名 [整数 (啓林館)] [偶数と奇数, 倍数と約数 (東京書籍)]	①~③ ( / 3) 知識・理解	④~⑥ ( / 3) 技能	⑦⑧ ( / 2) 考え方	得点 ( / 8)
5年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )				

○ 次の㉠㉡はそれぞれ奇数と偶数の集まりです。

㉠ 1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, …

㉡ 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, …

① 0は, ㉠㉡のどちらに入るでしょう。

② ㉠は奇数です。奇数とはどのような数の集まりか説明しましょう。

③ ㉡は偶数です。偶数とはどのような数の集まりか説明しましょう。

[①~③ 知識・理解]

○ 次の問いに答えましょう。

④ 次の数を偶数, 奇数に分けましょう。

33, 59, 24, 70, 46, 51, 27, 85, 62, 38

偶数	
奇数	

○ 次の問いに答えましょう。

⑤ 816543は, 偶数か奇数かをかきましよう。

⑥ ⑤で答えたわけを説明しましょう。

[④~⑥ 技能]

⑦ 30人が, AチームとBチームに分かれます。Aチームの人数が偶数だとしたら, Bチームの人数は偶数, 奇数のどちらになるでしょう。

⑧ その理由をかきましよう。

[⑦⑧ 考え方]

小学校第5学年

単元別確認テスト7 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔7 整数（啓林館P92～P93）〕〔7 偶数と奇数, 倍数と約数（東京書籍P78～P80）〕							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(1) 整数の性質についての理解を深める。 ア 整数は, 観点を決めると偶数, 奇数に類別されることを知ること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	0が偶数であることを理解している。	い			○	○			90%
②	2で割りきれない数が奇数であることを理解している。	2でわり切れない整数			○			○	90%
③	2で割りきれれる数が偶数であることを理解している。	2でわり切れる整数			○			○	90%
④	整数を偶数と奇数に分けることができる。	偶数・・・24, 38, 46, 62, 70 奇数・・・27, 33, 51, 59, 85		○			○		90%
⑤	ある整数が偶数か奇数かを判断することができ, そのわけも説明できる。	奇数		○		○			90%
⑥		816543は2でわり切れない整数だから		○				○	90%
⑦	ある整数を2つに分けるととき, 一方が偶数の場合, 他方が偶数・奇数のどちらになるかを考えることができる。	偶数	○			○			90%
⑧	ある整数を2つに分けるととき, 一方が偶数の場合, 他方も偶数になることの根拠を説明することができる。	たとえば, Aチームが18人の時, Bチームは12人。Aチームが14人の時, Bチームは16人。このように, Aチームが偶数の場合はすべて, Bチームも偶数になる。 (図形等を使って, Aチームが偶数の場合, はしたの形がでないので, Bチームも偶数になる, もOK。)	○					○	80%
合 計 8 問			2	3	3	3	1	4	89%

小学校第5学年 単元別確認テスト **8**

単元名 [整数(啓林館)][偶数と奇数, 倍数と約数(東京書籍)]	①~③ ( / 3)	④~⑦ ( / 4)	⑧~⑩ ( / 3)	得点 ( / 10)
5年 ( )組 ( )番 名前 ( )	知識・理解	技能	考え方	

○ 次の問いに答えましょう。

① 1から20までの整数の中で、4の倍数をすべてかきましょう。

② 次の数のうちで、12の約数を、すべて○でかこみましょう。

1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15

③ 51から60までの整数の中で、素数をすべてかきましょう。

[①~③知識・理解]

④ 8と12の公倍数を小さい順に3つかきましょう。

⑤ 15と18の最小公倍数をかきましょう。

⑥ 8と20の公約数をすべてかきましょう。

⑦ 36と54の最大公約数をかきましょう。

[④~⑦技能]

○ 次の問いに答えましょう。

⑧ みかん48ことりんご60こを、あまりが出ないように、できるだけ多くの人に同じ数ずつ分けます。何人に分けることができるでしょう。

⑨ ある駅から、電車は6分ごとに、バスは9分ごとに発車します。午前8時に、電車とバスが同時に出発した後、次に同時に発車するのは午前何時何分でしょう。

⑩ 2けたの整数の中で、4でわっても6でわっても1あまる数は全部でいくつあるでしょう。その求め方もかきましょう。

(求め方)

[⑧~⑩考え方]

## 小学校第5学年単元別確認テスト8 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔7 整数（啓林館P94～P104）〕〔7 偶数と奇数, 倍数と約数（東京書籍P81～P91）〕							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(1) 整数の性質についての理解を深める。 イ 約数, 倍数について知ること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	倍数を理解している。	4, 8, 12, 16, 20			○		○		90%
②	約数を理解している。	1, 2, 3, 4, 6, 12			○	○			90%
③	素数を理解している。	53, 59			○		○		90%
④	公倍数を求めることができる。	24, 48, 72		○			○		90%
⑤	最小公倍数を求めることができる。	90		○			○		90%
⑥	公約数を求めることができる。	1, 2, 4		○			○		90%
⑦	最大公約数を求めることができる。	18		○			○		90%
⑧	最大公約数を使って答えを考えることができる。	12人	○				○		80%
⑨	最小公倍数を使って答えを考えることができる。	午前8時18分	○				○		80%
⑩	公倍数を使って答えを考えることができる。	8つ (求め方) 4でわっても6でわっても1あまる数は, 4と6の公倍数に1をたした数になる。 まず, 2けたの整数の中で, 4と6の公倍数は12, 24, 36, 48, 60, 72, 84, 96。 次に, 求める数は, その公倍数に1をたして13, 25, 37, 49, 61, 73, 85, 97。 だから, 全部で8つ。	○					○	70%
合 計 10 問			3	4	3	1	8	1	86%

単元名 [分数(1)(啓林館)] [分数のたし算とひき算(東京書籍)]	①~③	④~⑦	⑧~⑩	得点
	( / 3)	( / 4)	( / 3)	( / 10)
5年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )	知識・理解	技能	考え方	

○ 次の問いに答えましょう。

① □にあてはまる数をかきましょう。

$$\frac{6}{15} = \frac{\square}{5}$$

②  $\frac{15}{21}$  を約分しましょう。

③ 0.7と  $\frac{3}{5}$  では、どちらが大きいですか。

[①~③知識・理解]

○ 次の計算をしましょう。答えが約分できるときは、約分しましょう。

④  $\frac{3}{4} + \frac{2}{7}$

⑤  $\frac{7}{15} - \frac{3}{10}$

⑥  $\frac{3}{2} + \frac{1}{4} - \frac{1}{6}$

⑦  $3\frac{1}{7} - 1\frac{2}{3}$

[④~⑦技能]

○ 次の問いに答えましょう。

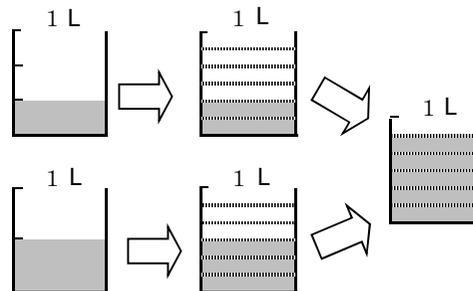
⑧  $\frac{5}{6}$  L のコーヒーと0.2 L の牛乳でカフェオレを作ります。あわせて何 L になるでしょう。

⑨ かずこさんは、リボンを  $1\frac{2}{3}$  m ,まさこさんは、リボンを  $1\frac{5}{6}$  m 持っています。どちらのリボンが何 m 長いでしょう。

⑩ たろうさんは  $\frac{1}{3} + \frac{1}{2}$  の計算を(ア)のようにまちがってしまいました。

(ア)  $\frac{1}{3} + \frac{1}{2} = \frac{2}{5}$

たろうさんに正しい計算の仕方を説明します。次の水そうの図を使って説明しましょう。



(正しい計算の仕方の説明)

[⑧~⑩考え方]

小学校第5学年単元別確認テスト9 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

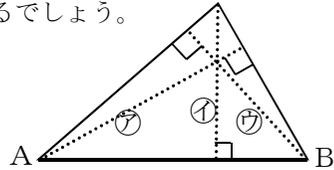
単元名		[8 分数(1) (啓林館P106~P116)] [9 分数のたし算とひき算 (東京書籍P104~P117)]							
〈学習指導要領〉  A 数と計算		(4) 分数についての理解を深めるとともに, 異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し, それらを適切に用いることができるようにする。 ウ 一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は, 元の分数と同じ大きさを表すことを理解すること。 エ 分数の相等及び大小について考え, 大小の比べ方をまとめること。 オ 異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考え, それらの計算ができること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	同じ大きさの分数の作り方を理解している。	2			○		○	90%	
②	約分の仕方を理解している。	$\frac{5}{7}$			○		○	90%	
③	分数と小数の大小の比べ方を理解している。	0. 7			○	○		80%	
④	異分母分数の加法の計算ができる。	$\frac{29}{28}$		○			○	80%	
⑤	異分母分数の減法の計算ができる。	$\frac{1}{6}$		○			○	80%	
⑥	異分母分数の加法・減法の計算ができる。	$\frac{19}{12}$		○			○	70%	
⑦	帯分数の入った異分母分数の加法ができる。	$\frac{31}{21}$		○			○	70%	
⑧	分数と小数の加法の計算をもとに, 答えを考えることができる。	$\frac{31}{30}$ L	○				○	80%	
⑨	異分母の帯分数の減法の計算をもとに, 答えを考えることができる。	まささんのリボンが $\frac{1}{6}$ m 長い	○				○	80%	
⑩	異分母分数の加法の計算の仕方を説明することができる。	1/3Lは1L水そうを6つに分けた2つ分の2/6Lと同じかさになる。 1/2Lは1L水そうを6つに分けた3つ分の3/6Lと同じかさになる。 だから $1/3 + 1/2 = 2/6 + 3/6 = 5/6$ になる。	○				○	70%	
合 計 10 問			3	4	3	1	8	1	79%

# 小学校第5学年 単元別確認テスト 10

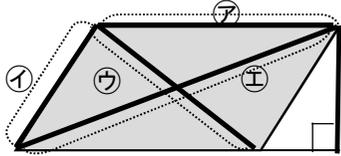
単元名：〔面積（啓林館）〕 〔四角形と三角形の面積（東京書籍）〕	①② ( / 2) 知識・理解	③～⑤ ( / 3) 技能	⑥～⑨ ( / 4) 考え方	得点 ( / 9)
5年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )				

○ 次の問いに答えましょう。

① 次の三角形の底辺をABと考えたとき、高さは①～③のどの点線になるでしょう。

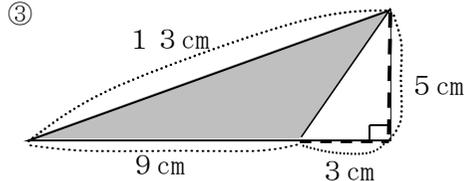



② 次の平行四辺形の面積を求めます。どの部分の長さを測ればよいでしょう。記号で答えましょう。

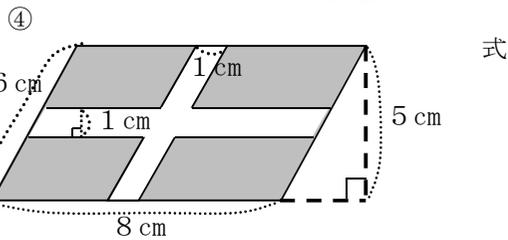



〔①② 知識・理解〕

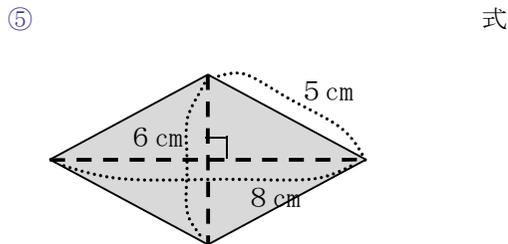
○ 次の の部分の面積を求めましょう。式



答え



答え

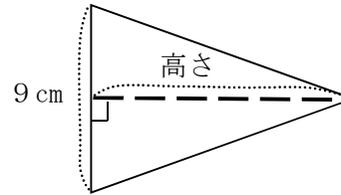


答え

〔③～⑤ 技能〕

○ 次の問いに答えましょう。

⑥ 次の三角形の面積は  $54 \text{ cm}^2$  です。高さを求めましょう。式

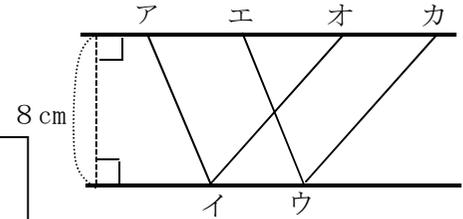


答え

⑦ 三角形の高さを  $3 \text{ cm}$  と決めて、底辺を  $1 \text{ cm}$  から、 $2 \text{ cm}$ 、 $3 \text{ cm}$ 、…と変えていきます。底辺が  $2$  倍、 $3$  倍になると、面積はどのように変わっていくでしょう。

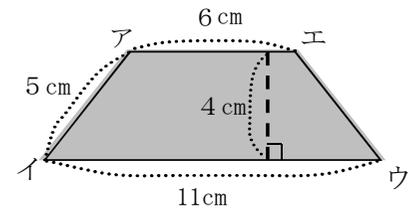
底辺が $2$ 倍、 $3$ 倍 となると面積は	<input type="text"/>
-----------------------------	----------------------

⑧ 右の図の2つの平行四辺形アイウエとオイウカの面積は等しいです。その理由をかきましょう。



理由

⑨ 右の図の台形の面積を、太郎さんは、 $6 \times 4 \div 2 + 11 \times 4 \div 2$  という式で求めました。太郎さんの考え方を言葉や図などを使って説明しましょう。



〔⑥～⑨ 考え方〕

小学校第5学年

単元別確認テスト10

出題のねらい及び解答例、評価の観点、目標正答率一覧

単元名		〔9 面積（啓林館P118～P132）〕 〔12 四角形と三角形の面積（東京書籍下P32～P52）〕							
〈学習指導要領〉 B 量と測定		(1) 図形の面積を計算によって求めることができるようにする。 ア 三角形，平行四辺形，ひし形及び台形の面積の求め方を考えること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	三角形の底辺がわかっているときの高さが分かる。	①			○	○			90%
②	平行四辺形の面積を求めるときの必要な辺の長さが分かる。	㊦ と ㊧			○	○			90%
③	三角形の面積を求めることができる	(式) $9 \times 5 \div 2 = 22.5$ (答え) $22.5\text{cm}^2$		○			○		90%
④	平行四辺形の面積の公式をもとに、  の部分の面積を求めることができる。	(式) $(8-1) \times (5-1) = 28$ (答え) $28\text{cm}^2$		○			○		70%
⑤	ひし形の面積の公式をもとに、  の部分の面積を求めることができる。	(式) $8 \times 6 \div 2 = 24$ (答え) $24\text{cm}^2$		○			○		90%
⑥	三角形の面積の公式を使って、高さを考えることができる。	(式) $54 \times 2 \div 9 = 12$ (答え) $12\text{cm}$	○				○		80%
⑦	三角形の面積の公式から、底辺と面積の関係について考えることができる。	・ 2倍，3倍になる。	○					○	75%
⑧	平行四辺形の底辺と高さが等しければ、面積は等しくなることを説明することができる。	2つの平行四辺形は、底辺がイウで長さが等しく、高さも8cmで等しいので、面積は等しい。	○					○	70%
⑨	三角形の面積の公式を使って、台形の面積の求め方を説明することができる。	台形を三角形アイエと三角形イウエに分け、それぞれの三角形の面積を求めて合わせた。(三角形アウエと三角形アイウに分けた考えも可)	○					○	70%
合 計 9 問			4	3	2	2	4	3	81%

小学校第5学年 単元別確認テスト11

単元名〔平均とその利用（啓林館）〕〔単位量あたりの大きさ（東京書籍）〕	① ( / 1)	②~④ ( / 3)	⑤~⑧ ( / 4)	得点 ( / 8)
5年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )	知識・理解	技能	考え方	

○ 次の問いに答えましょう。

- ① 「個数」「合計」のことはを使って、平均を求める式をかきましょう。

平均=

[① 知識・理解]

○ 次の平均を求めましょう。

- ② 1週間の最高気温

曜日	月	火	水	木	金	土	日
気温(度)	30	28	29	33	35	30	32

- ③ まさおさんの50m走のタイム

	1回目	2回目	3回目	4回目
時間(秒)	8.8	9.1	8.6	8.3

- ④ 20日で15kgの米を食べた家庭の1日平均の米の量

[②~④ 技能]

○ 次の問いに答えましょう。

- ⑤ ひろしさんが家から図書館までの歩数を調べたら、750歩ありました。ひろしさんの歩はばは約0.6mです。家から図書館までは、約何mあるでしょう。

式

○ 次の問いに答えましょう。

- ⑥ 1週間で154ページの本を読み終えました。同じペースで572ページの本を読むには、何日かかるでしょう。

式

- ⑦ 動物図鑑<sup>ずかん</sup>の第1巻から第4巻までの重さの平均は4kgでした。第5巻「ドッグシリーズ」の重さは6kgです。第1巻から第5巻までの重さの平均は何kgでしょう。

式

- ⑧ みどりさんのグループの男子、女子の人数とテストの平均点は、次の表の通りです。グループ全体のテストの平均点を出すにはどうすればよいでしょう。正しい求め方を(ア)、(イ)から選び、そのわけをかきましょう。

	人数(人)	平均(点)
男子	5	82
女子	7	86

(ア)  $(82 + 86) \div 2$

(イ)  $(82 \times 5 + 86 \times 7) \div (5 + 7)$

正しい求め方	わけ

[⑤~⑧ 考え方]

小学校第5学年 単元別確認テスト11 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔10 平均とその利用 (啓林館P138~P145)〕 〔10 単位量あたりの大きさ (東京書籍下P2~P9)〕							
〈学習指導要領〉 B 量と測定		(3) 量の大きさの測定値について理解できるようにする。 ア測定値の平均について知ること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	平均の求め方を理解している。	合計÷個数			○		○		90%
②	平均を求めることができる。	31度		○			○		90%
③	平均を求めることができる。	8.7秒		○			○		90%
④	平均を求めることができる。	750g (0.75kg)		○			○		90%
⑤	歩はばを使った道のりの概測問題を考えることができる。	$0.6 \times 750 = 450$ 約450m	○				○		80%
⑥	平均の考えを用いて問題を考えることができる。	$154 \div 7 = 22$ $572 \div 22 = 26$ 26日	○				○		80%
⑦	ある部分の平均をもとに全体の平均を求める方法を考えることができる。	$(4 \times 4 + 6) \div 5 = 4.4$ 4.4kg	○				○		70%
⑧	いくつかの部分の平均をもとに全体の平均を求める方法を説明することができる。	(イ)  (わけ) 平均は合計÷個数で求めるので、この場合もグループ全員の合計点を出して、それをグループ全員の人数でわらないといけなから。	○					○	70%
合 計 8 問			4	3	1	0	7	1	83%

小学校第5学年 単元別確認テスト12

単元名	[単位量あたりの大きさ(啓林館)]	[単位量あたりの大きさ(東京書籍)]	①② ( / 2)	③~⑤ ( / 3)	⑥⑦ ( / 2)	得点 ( / 7)
5年 ( )組 ( )番 名前 ( )			知識・理解	技能	考え方	

○ 広さ4㎡の小屋に、うさぎが12わいます。次の問いに答えましょう。

① 1㎡あたりのうさぎの数を求める式をかきましょう。

② 1わあたりの小屋の広さを求める式をかきましょう。

[①②知識・理解]

○ 次の問いに答えましょう。

③ Aセットのノートは6さつで480円、Bセットのノートは4さつで360円です。1さつのねだんが安いのは、AセットBセットのどちらでしょう。

式

答え

④ ある市の人口は約68万人で、面積は80km<sup>2</sup>です。この市の人口密度を求めましょう。

式

答え

⑤ AとBのじゃ口から水が出ます。Aのじゃ口からは、3分間で120Lの水が出ました。Bのじゃ口からは、5分間で190Lの水が出ました。1分間に出る水の量が多いのは、AとBのどちらのじゃ口でしょう。

式

答え

[③~⑤技能]

○ 次の問いに答えましょう。

⑥ ガソリン1Lあたり8km走る車があります。この車で96kmのきよりを走りました。使ったガソリンのねだんはいくらになるでしょう。1Lあたりのガソリン代は120円です。

式

答え

⑦ 誕生日会の案内状を印刷します。始めに1分間に30枚印刷できるプリンターAで3分間しました。そのあとに、プリンターBで4分間印刷して、全部で230枚の案内状ができました。プリンターBでは、1分間に何まいの案内状が印刷できるでしょう。

式

答え

[⑥⑦考え方]

小学校第5学年単元別確認テスト12

出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[11 単位量あたりの大きさ(啓林館P146~P151)] [10 単位量あたりの大きさ(東京書籍下P10~P18)]							
〈学習指導要領〉 B 量と測定		(4) 異種の二つの量の割合としてとらえられる数量について, その比べ方や表し方を理解できるようにする。 ア 単位量あたりの大きさについて知ること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	1㎡当たりの数の求め方を理解している。	12 ÷ 4			○		○		90%
②	1羽当たりの広さの求め方を理解している。	4 ÷ 12			○		○		90%
③	1冊当たりの値段を比べることができる。	Aセット 480 ÷ 6 = 80    Bセット 360 ÷ 4 = 90 安いのは, Aセット		○			○		80%
④	人口と面積から人口密度を求めることができる。	680000 ÷ 80 = 8500    8500人 (人/㎢)		○			○		80%
⑤	1分間にでる水の量を比べることができる。	120 ÷ 3 = 40    190 ÷ 5 = 38    Aのじゃ口		○			○		80%
⑥	単位量当たりの考えを使って答えを導くことができる。	96 ÷ 8 = 12    120 × 12 = 1440    1440円	○				○		70%
⑦	単位量当たりの考えを使って答えを導くことができる。	30 × 30 = 90    230 - 90 = 140    140 ÷ 4 = 35    35枚	○				○		70%
合 計 7 問			2	3	2	0	7	0	80%

小学校第5学年 単元別確認テスト 13

単元名 [分数(2)(啓林館)] [分数のかけ算とわり算(東京書籍)]	①② ( / 2)	③~⑥ ( / 4)	⑦~⑨ ( / 3)	得点 ( / 9)
5年 ( )組 ( )番 名前 ( )	知識・理解	技能	考え方	

○ 次の問いに答えましょう。

① □にあてはまる数を答えましょう。

$\frac{3}{5} \times 4$  は、 $\frac{1}{5}$  が  $(3 \times \square)$  個分です。

②  $\frac{3}{4} \div 2$  の計算の仕方が正しいものを、次の(ア)～(ウ)から1つ選んで記号で答えましょう。

(ア)  $\frac{3}{4} \div 2 = \frac{3}{4 \div 2}$

(イ)  $\frac{3}{4} \div 2 = \frac{3}{4 \times 2}$

(ウ)  $\frac{3}{4} \div 2 = \frac{3 \div 2}{4 \div 2}$

[①② 知識・理解]

○ 次の計算をしましょう。答えが約分できるときは、約分しましょう。

③  $\frac{2}{11} \times 4$

④  $\frac{4}{9} \times 6$

⑤  $\frac{2}{5} \div 3$

⑥  $\frac{4}{7} \div 6$

[③~⑥ 技能]

○ 次の問いに答えましょう。

⑦ 1辺の長さが  $\frac{2}{3}$  mの正方形があります。この正方形のまわりの長さは何mでしょう。

式

答え

⑧ 3 dL のペンキを使って  $\frac{5}{6}$  m<sup>2</sup>のかべをぬりました。このときペンキ1 dL で何m<sup>2</sup>のかべをぬったことになるでしょう。

式

答え

⑨ 鉄のぼう3 mの重さをはかったら  $\frac{6}{7}$  kgありました。この鉄のぼう1 mの重さは、 $\frac{1}{3}$  kgより重いか軽いかわかるといって答えましょう。また、その理由もかきましょう。

重い	軽い
[理由]	

[⑦~⑨ 考え方]

小学校第5学年 単元別確認テスト13 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[12 分数(2) (啓林館P152~P155)] [15 分数のかけ算とわり算 (東京書籍下P94~P101)]							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(4) 分数についての理解を深めるとともに, 異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し, それらを適切に用いることができるようにする。 カ 乗数や除数が整数である場合の分数の乗法及び除法の意味について理解し, 計算の仕方を考え, それらの計算ができること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	分数×整数の計算の仕方を理解している。	4			○		○	90%	
②	分数÷整数の計算の仕方を理解している。	イ			○	○		90%	
③	真分数×整数(約分なし)の計算ができる。	$\frac{8}{11}$		○			○	80%	
④	真分数×整数(約分あり)の計算ができる。	$\frac{8}{3}$ (2 $\frac{2}{3}$ )		○			○	80%	
⑤	真分数÷整数(約分なし)の計算ができる。	$\frac{2}{15}$		○			○	80%	
⑥	真分数÷整数(約分あり)の計算ができる。	$\frac{2}{21}$		○			○	80%	
⑦	題意をとらえ, 真分数×整数の計算を使って答えを考えることができる。	式 $\frac{2}{3} \times 4 = \frac{8}{3}$ 答え $\frac{8}{3} \text{ m}$ (2 $\frac{2}{3} \text{ m}$ )	○				○	80%	
⑧	題意をとらえ, 真分数÷整数の計算を使って答えを考えることができる。	式 $\frac{5}{6} \div 3 = \frac{5}{18}$ 答え $\frac{5}{18} \text{ m}^2$	○				○	75%	
⑨	題意をとらえ, 真分数÷整数の計算を使って答えを考え, その答えを導き出した理由も説明できる。	(答え) 軽い (理由) ※1mの重さで比較 $\frac{6}{7} \div 3 = \frac{2}{7}$ で, 鉄のぼう1mの重さは, $\frac{2}{7} \text{ kg}$ 。 $\frac{2}{7}$ と $\frac{1}{3}$ の大きさをくらべると, $\frac{2}{7} = \frac{6}{21}$ , $\frac{1}{3} = \frac{7}{21}$ で, $\frac{2}{7}$ の方が小さいから。 ※3mの重さで比較 $\frac{6}{7} \text{ kg}$ と $\frac{1}{3} \times 3 = 1 \text{ kg}$ をくらべると $\frac{6}{7}$ の方が小さいから。	○				○	70%	
合計 9 問			3	4	2	1	7	1	81%

小学校第5学年 単元別確認テスト 14

単元名 [分数(2)(啓林館)] [分数と小数, 整数の関係(東京書籍)]	①② ( / 2)	③~⑤ ( / 3)	⑥~⑧ ( / 3)	得点 ( / 8)
5年 ( )組 ( )番 名前( )	知識・理解	技能	考え方	

○ 次の問いに答えましょう。

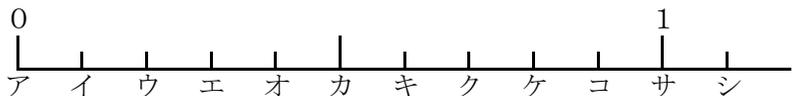
①  $4 \div 5$  の商を, 分数で表しましょう。

②  $0.47$  を, 分数で表しましょう。

[①②知識・理解]

○ 次の問いに答えましょう。

③ 次の数直線で,  $\frac{2}{5}$  のめもりはどれでしょう。ア~シからえらびましょう。




④  $\frac{5}{8}$  を, 小数で表しましょう。

⑤  $\frac{6}{7}$  を, 四捨五入で  $\frac{1}{100}$  の位までの小数で表しましょう。

[③~⑤技能]

○ 次の問いに答えましょう。

⑥ 次の数を, 小さい順にならべて, 左からかきましょう。

$$\frac{4}{5}, \frac{19}{8}, 0.6, 1.5, 1\frac{3}{4}, 3.4$$

⑦ 牛乳が  $\frac{1}{4}$  L あります。ホットケーキを作るために, 200 mL 使いました。残りは何L でしょう。

式

答え

⑧  $\frac{2}{11}$  を小数で表したとき, 小数第五十位の数字は何でしょう。また, どのように求めたか, 説明をかきましょう。

小数第五十位の数字

(説明)

[⑥~⑧考え方]

小学校第5学年 単元別確認テスト14 出題のねらい及び解答例、評価の観点、目標正答率一覧

単元名		〔12 分数(2) (啓林館P156～P160)〕 〔8 分数と小数、整数の関係 (東京書籍P92～P100)〕							
〈学習指導要領〉		(4) 分数についての理解を深めるとともに、異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを適切に用いることができるようにする。 ア 整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすること。 イ 整数の除法の結果は、分数を用いると常に一つの数として表すことができることを理解すること。 エ 分数の相等及び大小について考え、大小の比べ方をまとめること。							
A 数と計算									
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	整数の除法の結果を分数で表すことを理解している。	$\frac{4}{5}$			○		○	90%	
②	小数を分数の形に直して表すことを理解している。	$\frac{47}{100}$			○		○	90%	
③	分数の大きさを数直線に表すことができる。	オ		○		○		85%	
④	分数を小数で表すことができる。	0.625		○			○	90%	
⑤	分数を小数で表すことができる。	0.857… → 0.86		○			○	90%	
⑥	分数を小数で表して大きさの見当をつけ、数の大小を考えることができる。	0.6 $\frac{4}{5}$ 1.5 1 $\frac{3}{4}$ $\frac{19}{8}$ 3.4	○			○		75%	
⑦	問題文を読み取り、分数を小数で表すことを通して、答えを考えることができる。	$\frac{1}{4}$ L = 0.25L    200mL = 0.2L    0.25 - 0.2 = 0.05 答え 0.05L (別解) 200mL = $\frac{1}{5}$ L, $\frac{1}{4}$ - $\frac{1}{5}$ = $\frac{1}{20}$ 答え $\frac{1}{20}$ L	○				○	75%	
⑧	分数を小数で表すとき、数字が循環することを基に、答えを考えることができる。	小数第五十位の数字 8 $\frac{2}{11}$ = 0.18181818… となり、1と8がくり返し出てくる。 1と8が25回くり返したとき、8が小数第五十位の数字となる。	○				○	75%	
合 計 8 問			3	3	2	2	5	1	84%